

# 保護司会連絡協議会会長賞

堺市立 白鷺小学校 六年

大谷 優 月

## コミュニケーションで防ぐ非行

今は、お金を盗む事がとても悪い事だときちんと理解しています。だけど、僕は、パパのお財布からお金を盗んだ事があります。

僕がお金を盗んだ理由は、放課後に一緒に遊んでいる友達が、買い食いをしているのがとてもうらやましかったからです。しかし、僕はお金を持っていませんでした。だから、パパのお財布から取ろうと思いました。

僕がお金を盗んだ時、三つの気持ちがありました。一つ目は、お金が手に入り、友達と同じ様にお菓子やジュースを買えるという嬉しい気持ちです。二つ目は、罪悪感です。もし、ママやパパにばれたらどうしようという不安な気持ちがありました。三つ目は、どうせおこづかいをもらえないから盗むしかないという気持ちです。お金を盗む時、一瞬だけ迷いました。だけど、その時の僕は、嬉しい気持ちの方が勝ってしまい、罪悪感は見えて見ぬふりをして盗む事を行いました。

しかし、盗んだ事はすぐにばれてしまいました。だけど、僕は、盗っていないや、お金を落としたりなど、たかさんのうそを重ねま

した。それは、怒られるからばれたくないという、不安な気持ちがあったからです。本当は、悪い事をしている自覚があったからです。しかし、ママとパパには、うそだとすぐに見破られました。僕は、うそや言い訳をくり返して、自分が何を言っているのかわからなくなりました。ばれた時は、怒られるくらいなら盗らなければ良かったとすごく後悔しました。だけど、もし、ばれなかったら、今も隠したまま、知らないふりをしていたと思います。もしかしたら、お金が足りなくなつて、万引きをしていたかもしれません。

お金を盗んだ事がすぐばれたのは、普段から、ママやパパときちんとコミュニケーションをとっていたからだと思います。だから、僕の様子がおかしいとすぐに気付いたのです。

僕は、整理整頓がとても苦手なので、物の管理があまりできません。物の管理もできないのに、お金の管理ができるとは思えないと、ママやパパに言われていました。だから、おこづかいはもらえないと思いついてお金を盗みました。普段の僕は、ママと

パパにいろいろな事を話しています。それと同じ様に、おこづかいの事も気軽に相談すれば良かったです。そうすれば、お金を盗む事もなかったはずですよ。

この経験を通して、非行は、コミュニケーションに深く関わっていると思いました。僕の家族がもし、あまりコミュニケーションをとらない家族だったら、ママやパパは僕がお金を盗んだ事に気付かなかったかもしれません。

コミュニケーションは、非行を防止するためにとっても大切だと思います。例えば、家族、先生、友達など、誰かに気軽に相談できる環境が必要です。そこで、僕達にもできる事を考えてみました。家庭では、家族で話す時間を作るために、積極的にお手伝いをしたら良いと思います。学校では、職員室に相談に行くのは緊張するので、先生が教室にいてくれると声をかけやすくなると思います。他にも、放課後に先生と気軽に話しをするお話し会などの時間を作ることができれば、相談しやすくなると思います。

僕が、お金を盗む事をやめられたのは、ママとパパが止めてくれたからです。コミュニケーションには、非行を防止する力があると思います。そのため、非行をなくすには、普段から、家族や先生、友達などと気軽にコミュニケーションをとれる環境作りが大切だと思います、

